

◆里山交流会 「バードウォッチングと フェザーアクセサリー作り」

冬の里山は葉も落ちて野鳥の姿を観察しやすくなります。のんびりバードウォッチングを楽しんだ後は、鳥の羽根を使ったアクセサリー作りをします。お弁当持参。

日時：1月13日(日) 10:00~14:00
対象：大人(20代~40代)
定員：20名【先着順】
参加費：2,000円
(材料費・保険代・お茶菓子代)
要申込：受付中【定員になり次第締切】

◆大人の自然観察会

大人向けの、じっくり自然を観察するイベントです。冬の雑木林にかくれた小さな生きものをさがします。

日時：1月19日(土) 9:30~12:00
対象：中学生以上
定員：20名【先着順】
参加費：100円
要申込：受付中【定員になり次第締切】

◆里山体験教室 「伐採体験とミニほだ木作り」

里山の管理作業である、伐採の体験をします。伐採した木を使って、しいたけのミニほだ木を作ります。

日時：1月27日(日) 10:00~14:00
対象：小学生以上(小学生は保護者と参加)
定員：20名【先着順】
参加費：300円(材料費・保険代)
要申込：受付中【定員になり次第締切】

◆みどり森ガイドウォーク

当日募集型のガイドウォークです。案内所から大谷戸湿地周辺のみどころを1時間程度でご案内します。どんなテーマになるかは当日のお楽しみ!

日時：1/6(日) 11:00~
2/2(土) 13:00~
3/2(土) 13:00~
3/20(木祝) 11:00~
対象：どなたでも
定員：15名
参加費：無料
要申込：当日10時から案内所にて受付



◆里山ようちえん カエル組・オタマ組

子どもの成長段階や好奇心に合わせて、親子で里山の自然の中で遊びます。お弁当持参、お茶とお菓子付き。
※参加対象年齢がありますのでご注意ください。

【カエル組】

日時：2月3日(日) 10:00~13:30
対象：H30年4/1時点で満4・5歳児と保護者
定員：20名(応募多数の場合は抽選)
参加費：親子2名で1,000円1名追加ごと500円
要申込：1/4~1/17までに申込み

【オタマ組】

日時：2月6日(水) 10:00~13:30
対象：H30年4/1時点で満2・3歳児と保護者
定員：20名(応募多数の場合は抽選)
参加費：親子2名で1,000円1名追加ごと500円
要申込：1/6~1/19までに申込み

◆里山文化講座 「地域の歴史めぐり」

今回はみどり森の所沢市市域を起点に流れ始める、砂川を下りながら川沿いの史跡を見学していきます。

日時：3月10日(日) 10:00~14:30
対象：中学生以上
定員：20名【先着順】
参加費：300円
要申込：2月10日から受付開始します。

◆親子はじめての自然観察

小学生とその保護者向けの観察会です。春に向けて動きだす生き物や草花を観察していきます。

日時：3月24日(日) 9:30~12:00
対象：小学生と保護者
定員：20名【先着順】
参加費：100円(保険代)
要申込：2月24日から受付開始します。

みどり森からはどこまでの景色が見えるの!?

冬は空気が澄み、遠くの景色まで見える季節です。雪が積もった山々と青空のコントラストは、とてもきれいで、ついつい立ち止まって見てしまいますね。

ところで、みどり森からはどこまでの景色が見えるのでしょうか? 関東平野の西の端に位置する、なだらかな狭山丘陵からは、意外と遠くまで見渡せます。みどり森は、展望台があるわけではないので「360度を一望!」というわけにはいきませんが、北方向が西~東まで見渡せる場所があります。

とても空気が澄んでいて晴れた日には、福島県と栃木県の境にある「那須連山」が見えることがありますが、なんと約158km!も離れています。

他にも有名な山がいくつか見えますが、どこで、どのように見えるのかは、中面をご覧ください。

また、景色や冬の野鳥を観察したい方のために、案内所では、ヴァンガード社の協力により双眼鏡の無料貸出をしています。貸し出しの際には、簡単な手続きと身分証明をできるものが必要になります。詳細は案内所スタッフまでお気軽にお問合せ下さい。



「みどり森から見える景色の範囲」

フィールドミュージアム みどり森 ③ ~武蔵野観察ゾーン 大谷戸湿地~

さいたま緑の森博物館(通称みどり森)は、里山環境そのものを展示とした『フィールドミュージアム』であることが一番の特徴です。みどり森についてや園内の見どころをご紹介しますこのコーナー。前回までは概要と、全エリアのゾーニングについてお伝えしました。今回は、各エリア内の環境をご紹介します。



~大谷戸湿地~



丘陵地が雨水や湧水による浸食を受けて形成された、谷状の地形を、この地域では「谷戸(やと)」と呼びます。谷戸は水が集まり湿地になっているので、人々は古くから水をたくさん使用する稲作の場として利用してきました。

稲作の行われなくなった現在の大谷戸湿地では、毎年、アシ等の植物が堆積してしまわないよう、3月にアシ原の刈り取り作業を行います。その作業が終わった湿地を見ると、今でも田んぼの名残り(畦の跡)を見ることができます。

そのころはこんな風景だったのかな?



【みどころ】
武蔵野観察ゾーンに位置している大きな水辺の環境のため、定期的に人が手を入れ、環境を保つようにしています。水辺の環境があることにより、その環境に適した動植物が息づいており、春にはカエルの卵、夏~秋には飛び交うトンボの姿、ツリフネソウ等の湿生の植物、秋・冬には冬越しをする野鳥等、1年を通して様々な動植物を観察することができます。

博物館からのお知らせ

~散策時の注意事項~

1~3月ごろ、霜や雪の影響で園路がぬかるむようになります。散策をする際は、足元に十分気を付けて、お楽しみください。1月から倒木の伐採や西久保湿地の木橋の架け替え工事なども実施予定です。詳しくは案内所またはHPでご確認下さい。

博物館の利用案内

◆緑の森博物館の利用ルール◆

緑の森博物館では、以下の7つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- 1) 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生きものをむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- 2) 他から持ち込んだ動植物(外来種)を放さないでください。
- 3) 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- 4) 犬などのペットを放さないでください。
(フンの後始末もしっかりと行いましょう)
- 5) 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- 6) バーベキューや花火など火を使わないでください。
- 7) ゴミは持ち帰りましょう。

◆アクセス◆

- 公共交通機関をご利用の場合■
小手指駅南口より西武バス
「宮寺西」または「金子駅入口」行き乗車、約25分
「荻原バス停」下車、徒歩約10分
- 案内所までの地図■
右のQRコードを読み込むと緑の森博物館のHPのアクセスページが開きます。(一部、携帯電話では確認できない機種があります)
- ご来館時のお願い■
駐車スペースに限りがありますので電車・バスをご利用ください。

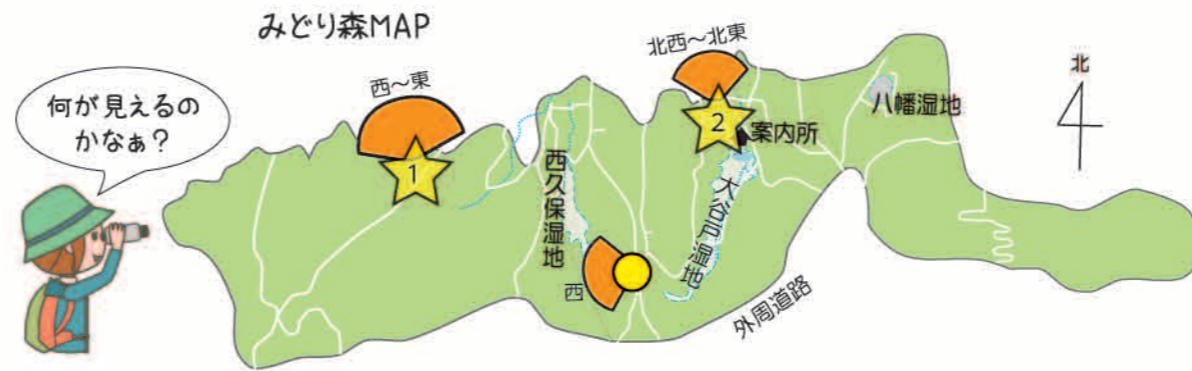


発行年月 2019年1月
発行 さいたま緑の森博物館
住所 〒358-0014 埼玉県入間市宮寺889-1
TEL/FAX 04-2934-4396

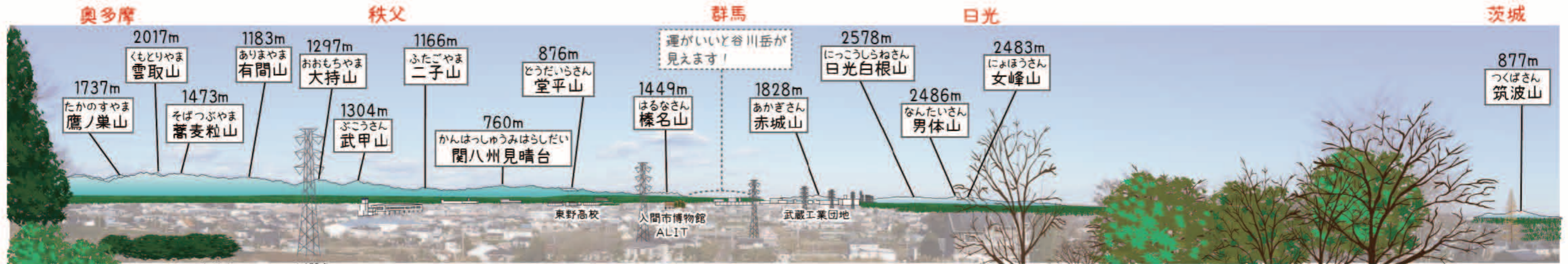
開館時間 9:00~17:00 【入館無料】
休館日 月曜日、祝日の翌日(その日が祝日の場合をのぞく)
公式HP <http://saitama-midorinomori.jp/>
指定管理者 株式会社自然教育研究センター

みどり森から見える景色

狭山丘陵の北斜面に広がるみどり森。狭山丘陵は関東平野の西に位置する、なだらかな丘陵のため、冬の澄んだ空気の日には遠くの景色まで見ることができます。
みどり森の3つの展望スポットから見える景色はどんな景色なのでしょう？



【注意】
園路外の畑などは私有地ですので、立ち入らないようお願いいたします。また、三脚を使っている撮影は、通行の妨げにならないよう、お願いいたします。



西側斜面からは、奥多摩方面～茨城方面まで見渡せます。天気良ければ、谷川岳が見えることも！ここから見える一番標高が高い山は、日光白根山ですが、直線距離で112km離れているため、秩父の山々より低く見えます。街並みは、青梅市～入間市が見え、特に入間市内の武蔵工業団地が目立ちます。

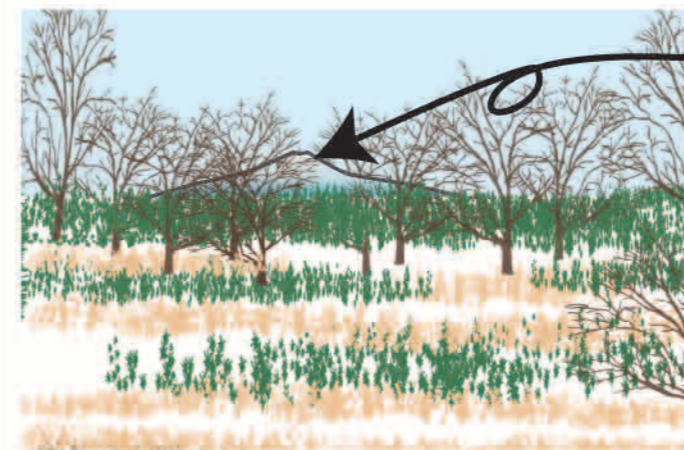
情報求む!! どこから見える? みどり森?
今回はみどり森から見える山をご紹介しますが、反対に見えている山から「緑の森博物館」は見えるのでしょうか？
今回、ご紹介した山に登った際には、ぜひ緑の森博物館(狭山丘陵)を探してみてください。もし見ることができたら、案内所のスタッフに教えてくださいね♪



展望広場からは、秩父方面～栃木方面まで見渡せますが、群馬の山々は隠れてしまっていて見ることはできません。しかし天気良ければ、みどり森から約158km離れた那須岳などの那須方面の山々が見えることも！ここから見える一番標高が高い山は、日光白根山です。街並みは、入間市内が見えます。

期間限定!?

● 富士山展望ポイント



みどり森の雑木林も人の手を離れて4～50年ほど経過し、木々が大きく成長してきています。かつて人々が雑木林を利用していた頃は、林の木々の高さは、現在よりも低く、広い範囲を望めたのかもしれない。
木の葉が落ちる「冬季限定」で雑木林広場の西側の園路から、かすかに富士山を見ることができます。今後の常緑の木々の成長次第では、見れなくなるかもしれません。

空気が澄んでいる冬は遠くを見よう!

みどり森の3つの主要展望スポットを紹介しました。狭山丘陵からは秩父の山々はもちろんのこと、群馬や栃木の奥の山々まで、見ることがあります。山の景色のほかに、比良の丘から東に進んだ道からは東京都内のビル群やスカイツリーを見ることができますが、かすんでいることが多いので、空気が澄んでいる午前中がオススメです。
ぜひ、双眼鏡片手に、景色を楽しんでみてください♪

